

依頼者	一宮市環境部環境保全課
タイトル	来年度実施する環境に関する普及啓発イベント等の企画相談
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度から一宮市民を対象に、年間を通した「環境学習講座」の実施を検討しており、企画全体の内容や講座の講師についてアドバイスをいただきたい。また、一宮市環境部では初の試みであり前例がないため、予算作成等に対してもアドバイスをいただきたい。</li> <li>・年間3～4回で開催予定。内容は春に講演、夏はフィールド学習、秋・冬は座学や体験を希望。内容はエネルギー、温暖化、生物多様性、グリーンコンシューマーの中から実施したい。</li> </ul>	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○アドバイザーの紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省中部環境パートナーシップオフィス チーフプロデューサー 新海洋子氏</li> </ul> <p>○講座内容の企画に対する提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年に愛知・名古屋で開催されるESDユネスコ世界会議に合わせて、一宮市のESD実践を発信するために、環境学習講座に、「持続可能な社会をつくる、未来を考える」という視点を入れ、「体験・参加型のワークショップ」等の手法を取り入れたプログラムにする。</li> <li>・持続可能な社会をつくるために自分には何ができるのか、地域の環境課題の改善・解決のために何ができるのか、について考え、意見を交わす対話型の講座にする。併せて、フィールド学習においては、身近な自然環境での気づきが促されるような企画にする。</li> </ul>	
<p><u>企画した講座</u></p> <p>○ねらい</p> <p>1年間を通して環境について学び、体験を通して実感することで、環境問題をより身近なものだと捉え、現在だけではなく、未来の環境を視野に入れて考え、環境問題を自分事にし、行動の変革を促す。</p> <p>○内容</p> <p>1年間を通して環境について学ぶプログラムを作成。春に地球温暖化について学ぶ講演を行い、夏は親子でフィールド学習、秋・冬に省エネクッキングを行う。</p> <p>講座名：ESD～環境から未来を考える～（予定）（計3回）</p> <p>講座内容：</p> <p>第1回：【講演】地球温暖化を学ぶ（平成26年5月頃開催）</p> <p>第2回：【自然観察・工作教室】生物多様性を知る（平成26年7月頃開催）</p> <p>第3回：【省エネクッキング】エネルギーを身近に感じる（平成27年2月頃開催）</p> <p>参加人数(予定)：市民：20～100名（公募予定）</p>	
<p><u>コーディネーターに対する感想</u></p> <p>○依頼者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望通りの提案をしていただいたので、今後も活用したい。まだ、環境教育については知識・情報が足り</li> </ul>	

ないので、これからも相談したい。

- ・こちらの依頼の意図を汲み、いろんなアドバイスや提案をしてもらいとても良かった。

#### ○アドバイザー

- ・コーディネーターが一宮市の要望と、こちら側の提案の整合性を客観的に見て意見を言ってくれるので、助かった。
- ・双方に言えることだが、一宮市の担当者も直接は言いにくい事でもコーディネーターという第3者になら言えるので、意見のズレが少ないように思う。

#### その他

##### 【コーディネーターの意見】

担当者が変わっても継続して支援ができるように、これまでの経緯、決定事項と未決定事項を依頼者に再確認しておく必要がある。また、担当者が異動する場合、新しい担当者を紹介してもらえるようにコミュニケーションをとっておくことが大切である。

依頼者	清須市教育委員会事務局 教育部生涯学習課
タイトル	次年度の環境学習講座の企画相談と講師紹介
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清須市では市民対象に環境学習講座を実施しているが、集客が難しく、環境学習に対する市民ニーズがどこにあるのかが知りたい、どのような内容であれば参加者が集まるかアドバイスが欲しい。</li> <li>・平成 26 年度の環境講座が魅力的な講座となるよう、内容をともに考えていただき、講師も紹介していただきたい。</li> </ul>	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>依頼者から専門性の高い講座を実施したいとの要望があったため、<u>環境学習の提供を希望し、環境調査を主な業務としている株式会社愛研 技術営業部長 大屋 渡氏に協力を要請した。内容を具体的に相談した結果、より専門性の高い講師として元愛知県環境調査センター水圏部長 水産学博士の田中庸央氏を紹介された。</u></p> <p>○学習内容の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清須市は 3 つの川が流れる地域であり、川・水環境を大切にしたいという気持ちが必要である。そのために過去、現在の川の状況を伝えることを提案した。その上で、未来はどのような川の状況がいいのか水環境を学び知識を得ること、さらにその知識を元に行動を起すような環境学習の内容を提案した。</li> <li>・参加者を確保するためには市民の興味関心を引くタイトルが重要である。「ボランティア」「清掃活動」「川」等のキーワードだけではなく、流行語等を組み入れるなど講師と相談し、関心を引くタイトルにすることを提案した。</li> </ul>	
<p><u>企画した講座</u></p> <p>○ねらい</p> <p>年間を通して、清須市を流れる 3 つの川の歴史や現状を学び、未来に向けて「川」をどう残すべきか、そのために今市民にできることは何か、を考え、市民の環境行動(川に関するボランティア活動など)を喚起する。</p> <p>○内容</p> <p>清須市内を流れる庄内川、新川、五条川は、かつては鵜飼を楽しんだり、泳ぐことが出来るくらい美しく、日々の生活とつながっていた。しかし、現状は川に関心を持つ市民が少なく、行政の施策で水質や水環境は、以前に比べ、多少回復しているが、まだ十分な施策ができていない。このままの川の状況を未来に残しているのか、今できることはないのか、過去、現状について情報を提供し、今後、市民参加型の河川管理、流域一貫の視点から見た河川管理など何が求められるのかについて、川の未来について考える 3 回の講座を展開する。</p> <p>&lt;第 1 回 清須の川の過去を学ぶ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清須を流れる 3 つの川～歴史・文化とのかかわり～</li> <li>・清須市内河川の水質はどのように変化してきたか</li> </ul> <p>&lt;第 2 回 清須の川の現在を学ぶ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムとしての「森・川・海」～地域生態系の視点から～</li> </ul>	

・川の科学(水質浄化実験)

<第3回 清須の川の未来について考える>

・水質調査結果から何が見えるか

・河川再生への提言

●参加人数(予定):市民:20名(公募による参加募集の予定)

### コーディネーターに対する感想

#### ○依頼者

- ・環境講座の内容についてどう取り上げていいのかわかっていたので、相談にのっていただき、大変助かった。
- ・何度も足を運んでいただき、講座開催のアドバイスや提案をいただき、講座を組み立てる上で大変参考になった。
- ・講師と引き合わせていただき、綿密な打合せができ、希望する講座内容にあわせたプログラムが準備できた。
- ・コーディネーターのおかげでスムーズに企画を作成することができ、次年度の予算編成に間に合わせることができ助かった。

### その他

#### 【コーディネーターの意見】

今回、環境学習を企画している清須市と、環境学習の提供を希望していた株式会社愛研をマッチングさせることができ、非常に有意義なコーディネートとなった。